

第七十二回フォト句優秀作品（29年4月10日）



紫の着物乱れて白襦袢

昌康



光琳を気取りひと日の春愛でる 晃二



門前の桜も

経に耳澄ます三春



池の面に恋する想い

花篝

勝



避難者の

羨望残し

あす帰郷

隆



凛々しさに

ピースピースの

サイン出す

富男

寸 評：

1) 紫の着物乱れて白襦袢

松田 昌康

紫木蓮の花弁が崩れたところを巧みに撮影。フォト句ならではの画像。句はややぎごちないが綺麗な画像に免じて最高点。

2) 光琳を気取りひと日の春愛でる

安藤 晃二

スポーツ塔のホールの窓枠が額縁となり一服の名画を見た気分になった。素敵な句がついて良い作品になった。

3) 門前の桜も経に耳澄ます

三 春

前景の桜の花と後景の山門がよくマッチしているが、絵も句も平凡でややパンチに欠けるのが残念。

4) 池の面に恋する想い花篝

清水 勝

夜桜が池に映えて幻想的な画面を構成した。句も作者のものとは思へないほどの叙情性を醸し花篝という措辞も素敵だ。

5) 避難者の羨望残しあす帰郷

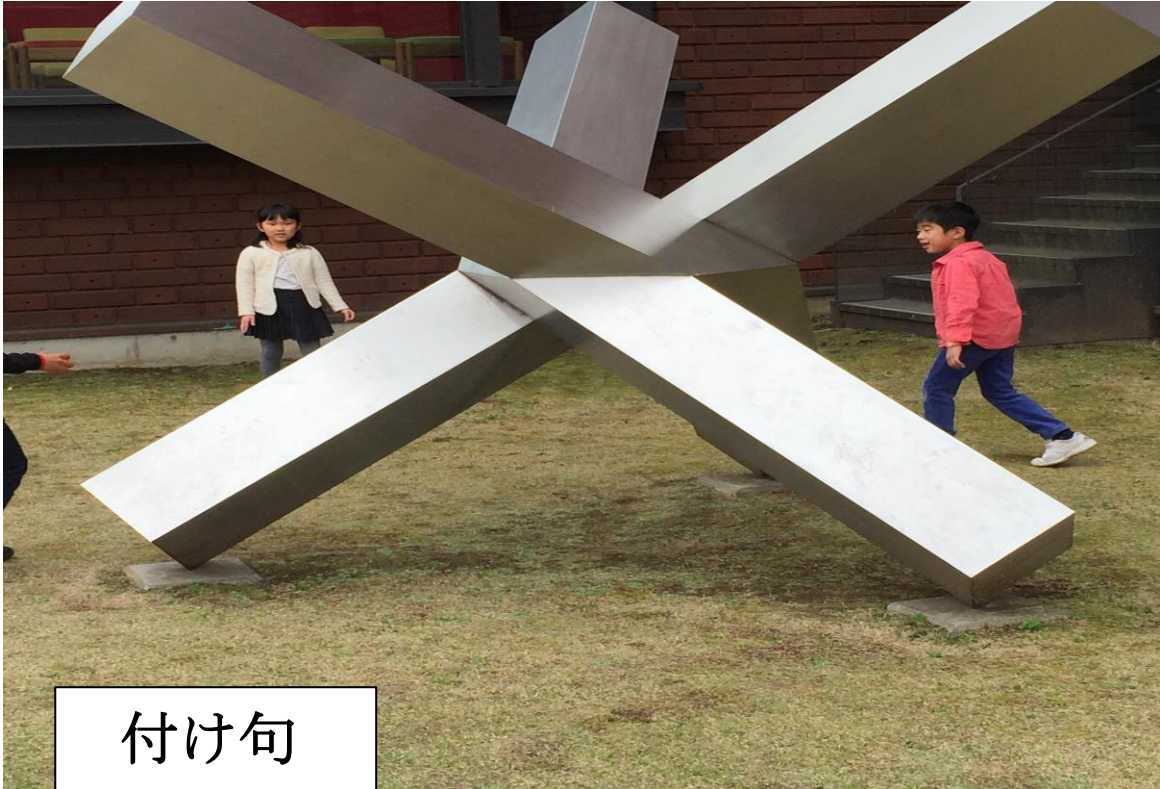
池田 隆

北国へ帰る白鳥を見て、残される避難者の気持ちを詠った。句が画像の説明に終わらず、しかもフィットするフォト句の典型。

6) 凛々しさにピースピースのサイン出す

平尾 富男

特異な写真だが、なにが凛々しいのか理解に苦しむ個性的作品。



付け句

今月は安藤さん出題。東京美術館前に鎮座したオブジェです。

1) 不燃ゴミ「ゲイジュツだぜー」とでかい顔 三 春

不燃ゴミとは恐れ入りました。これは著名な堀内正和氏作成の

「三本の正方体B」という題のレッキとした芸術作品ですよ！

以下同様趣旨の句が並びましたが、コメントは割愛します。

2) 鎮座して意味不明たる存在感 大越 浩平

3) 芸術とは訳のわからぬモノと知る 中村 晃也

4) 何だろう？なんて悩まず遊ぶ子ら 池田 隆

5) 期待せず孫の感性確かめる 大月 和彦

6) 子供らの未来を祈る涅槃像 清水 勝